整備効果②：地域活性化への支援（企業立地）
～沿線に進む企業立地～

物流企業や店舗の出店を地域も実感しています。圏央道開通に合わせた企業立地も続々。

- 圏央道沿線には、企業が立地。特に開通区間では続々と大規模物流施設が立地
（圏央道沿線では、開通後、新規工場の立地面積の伸びは、全国平均の約3倍。）
- 圏央道によるアクセス向上への期待から、事業用地のPRにも活用。

圏央道沿線の企業立地状況と企業などの声

相模原愛川IC周辺の物流企業の声

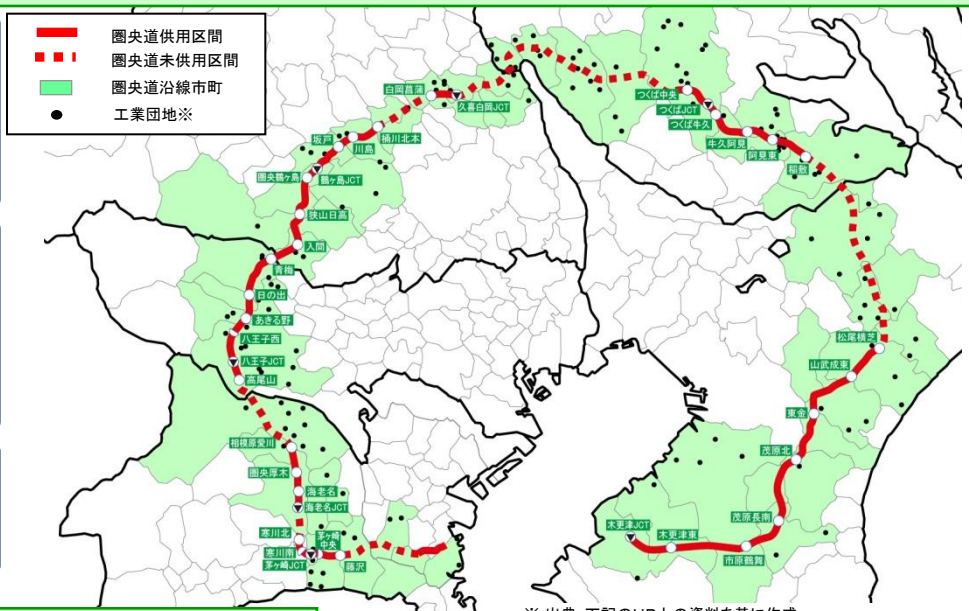
圏央道の整備をにらんで、相模原愛川ＩＣ近くに物流ターミナルを立地しました。

海老名エリア周辺の商業施設立地予定企業の声

圏央道の整備と土地区画整理事業を踏まえ、海老名エリアに大型商業施設の立地を予定しています。

商工会の声

沿線に物流企業の進出や店舗の出店がみられる。



※ 出典：下記のHP上の資料を基に作成
・神奈川県企業誘致促進協議会「かながわ産業立地情報」
・東京都産業労働局「とうきょう産業立地ナビ」
・埼玉県企業立地課「埼玉県工場適地図」
・茨城県圏央道沿線地域産業・交流活性化協議会「いばらぎ圏央道沿線ナビ」
・千葉県企業庁 「工業統計調査結果確報」

平成25年度に開業する主な物流施設（茅ヶ崎JCT～相模原愛川IC）

相模原愛川IC周辺

■ロジポート相模原

■ヤマト運輸㈱
厚木ゲートウェイ

■GLP厚木

圏央厚木IC周辺

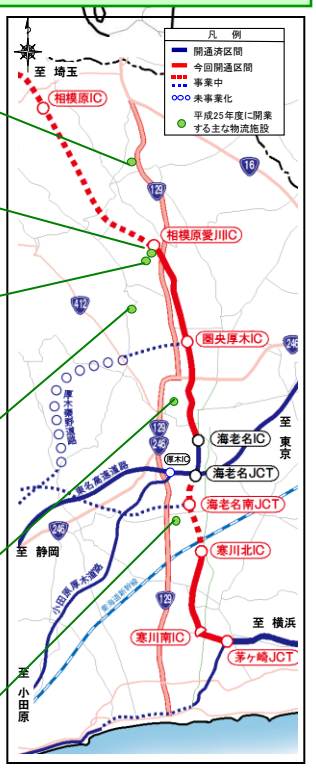
■日本レコードセンター
厚木三田DC

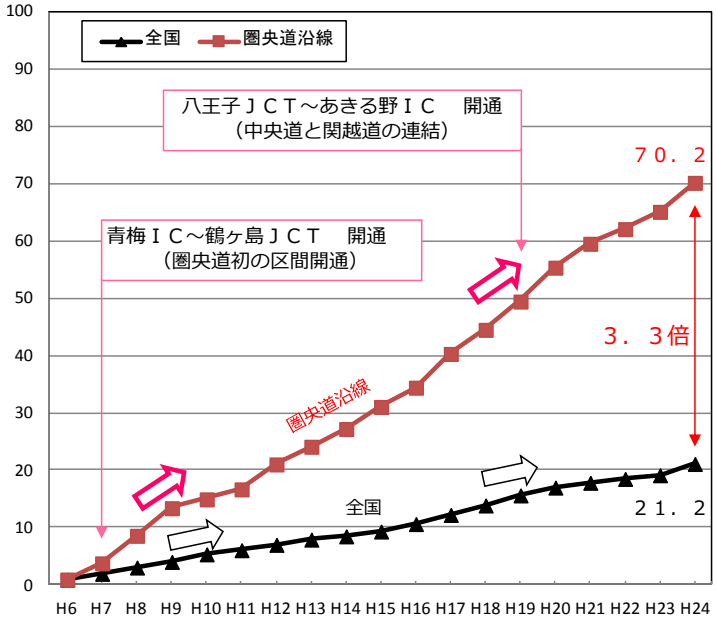
圏央厚木IC・海老名IC周辺

■厚木金田
物流センター

厚木IC周辺

■ファッションアパレル
ロジスティックセンター





出典：「工場立地動向調査」（経済産業省）より作成
※平成6年を1.0とした場合の新規工場立地面積（累積）の推移